

<福島県知事賞>

恩返しのできる税金「ふるさと納税」

二本松市立二本松第三中学校

3年 大内 宏矩

税金。今まで税金に興味を持ったことがありませんでしたが、今年の4月から増税をすると新聞やニュースなどで見聞きするうちに、税金に興味を持つようになりました。私は、「税金は何に使われているのだろう。」と疑問に思い、インターネットを利用して調べてみました。すると、道路や公共施設、学校など町の人々の暮らしを支え、豊かにするために税金は使われていると分かりました。また、東日本大震災の復興にも使われていると知り税金は大切なものだと思います。今年の4月から増税されました。反対意見の人が多いようですが、日本を豊かに発展していくために、増税はしかたがないことだと私は思います。私は、税金について調べてみて、税金がどこで、どのように使われているのか分かるように改善してほしいと思います。そうすることで、安心して税金を納めることができると思います。

ある日、私がニュースを見ていると「ふるさと納税」について放送されていました。私は、ふるさと納税に興味を持ったので、インターネットで調べてみました。そして、ふるさと納税について知ることができました。ふるさと納税とは、地域間の税収の格差バランスを正すため、2008年から始まった制度で、個人が自分の意思で納税する自治体を自由に選んで納税することができることです。ふるさと納税には5つの特徴があるそうです。1つ目は「特産品がもらえる」という特徴です。ふるさと納税をすると、納税したふるさとの特産品や工芸品等がもらえるそうです。2つ目は「生まれた故郷以外にも納税できる」という特徴です。自分の故郷以外にもふるさと納税で支援できるそ

うです。3つ目は「税金が控除される」という特徴です。ふるさと納税を行った場合、その年の所得税と翌年度の個人住民税がそれぞれ控除されるそうです。4つ目は「複数の自治体から選べる」という特徴です。ふるさと納税の最大の特徴で、支援したい地域が複数あったり、欲しい特産品が複数あった場合に便利だそうです。5つ目は「税金の使い道を自分で決めることができる」という特徴です。自分で税金の使い道を決めることでダイレクトに自治体の政策を支援できるのだそうです。私がふるさと納税で一番気になったのは5つ目の「税金の使い道を自分で決めることができる」という特徴です。自分で税金の使い道が決められるので、安心して納税できると思います。また、ダイレクトに自治体の政策の支援ができるので、自治体との結び付きも深まると思います。

ふるさと納税は、きっと日本を豊かに発展させ、笑顔のあふれる国にしてくれると思います。今回、ふるさと納税を知り、自分も大人になったらふるさと納税をし、東日本大震災で傷ついた福島の復旧復興に役立ててもらいたいです。

私の故郷「福島」に恩返ししたいです。